

建設 ながの

(一社)長野市建設業協会
長野県建設業協会長野支部

広報誌

7
2025
(令和7年)
No. 233



奥栗渓谷 (上田市)

美ヶ原高原の東の入り口に位置する奥栗渓谷。上田市武石の景勝地です。
標高1,000mに位置し、真夏でも涼やかな風を感じることができる渓谷で、春から夏にかけては鮮やかな緑、秋には見事な紅葉の中を川のせせらぎの音を聞きながら歩くことができます。これからの暑さが増す季節、涼をもとめて訪れてみてはいかがでしょうか？
(中島 麻希)

目次

- | | |
|---|--|
| 2. ■ 「地域の安全安心のために」
長野県土尻川砂防事務所長 玉川 博之 | 5. ■ 関連団体が通常総会 |
| 3. ■ 荻原市長に要望書提出 | 6. ■ 「真田家の家紋」
松代文化施設等管理事務所研究員 山中 さゆり |
| 4. ■ 災害に備え土のう5000袋作成
■ 長野工業高生に丁張技術伝授
■ 緊急時の輸送路開放へ訓練 | 7. ■ 「仕事も味も、一期一会」
食でつなぐコミュニケーション」
株川瀬工務店常務取締役 駒津 信太郎 |



長野県土尻川砂防事務所長
玉川 博之

「地域の安全安心のために」

この4月より土尻川砂防事務所長としてまいりました玉川博之と申します。砂防事務所は2回目ですが、土尻川砂防事務所は初めての勤務で、かつ長野地域の現地機関への勤務も初めてとなりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

長野県建設業協会長野支部並びに長野市建設業協会の皆様には、日頃より県の建設行政の推進、並びに当事務所の事業推進にご支援ご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、本県においては災害が少ない1年となりましたが、能登半島では1月の地震に続いて、9月には集中豪雨が発生し、地震と豪雨という二重の災害に見舞われ甚大な被害となりました。当管内においては今年4月に小川村で震度5弱の地震が発生しており、施設点検を行うなど地震や降雨への警戒を強めたところです。

フォッサマグナ上にあつて、地質がぜい弱で地形が急峻な当管内は、古くから土砂災害に苦しめられてきた地域であり、住民や地域の建設業の方々が大変なご苦勞をされて生活を守ってきた歴史があります。近年は地球温暖化と言われ気候変動が顕著となつており、地域の安全・安心をいかに守るかが当事務所の大きな課題となっています。

これを踏まえ、当事務所ではハード対策、ソフト対策、地域との協働の3つにより、地域防災力の向上を目指して、事業を実施してまいります。

ハード対策では、国土強靱化5か年加速化対策の予算を活用し着実な推進を図つてまいります。管内は地すべり防止区域が多く古くから対策工事が実施されており、これらのメンテナンスが重要となっていることを踏まえ、適切な対策による機能確保を図つてまいります。

ソフト対策では、土砂災害防止法に基づく基礎調査と区域指定、地区防災マップの作成と防災訓練などにより、地域の警戒避難体制構築を支援し

てまいります。また講師（赤牛先生）による防災学習により、災害の歴史や砂防施設の機能などをPRする取り組みを進めます。

地域との協働では、薬師沢での砂防惣代を中心とした施設の維持管理が、建設から約140年たった現在も継続されており、年3回の草刈りが犀協会の皆様の多大なご協力をいただき実施されています。この他にも多くの地域の皆様とボランティア協定を結び、草刈り等の維持管理を実施していただいております。地域の課題に対しては、防災関係者と実施する危険箇所パトロールや現地調査において、情報共有と適切な対応によって解決を図つてまいります。

当事務所管内は豊かな自然と素晴らしい景観や歴史を有しており、地域に密着した砂防事務所として、この美しい里山と住民の生活を守る砂防事業を着実に推進してまいりたいと考えております。結びに今後も変わらぬご支援ご協力をお願いいたしますとともに、建設業協会の皆様のご発展とご活躍を祈念いたしまして就任のあいさつとさせていただきます。

会社周辺に花の苗植栽

県建設業協会長野支部は6月10日、植栽用のマリーゴールドとサルビアのポット苗の配布を長水建設会館で行った。同支部では、建設業美化事業ボランティア「クリーン・グリーン&サポート作戦」を展開しており、今回が19回目。美化事業に加え、障害者支援活動の一環として、長野市若穂保科の障害福祉サービス事業所「廣望会」の入所者が育てたポット苗約850株を同支部が一括購入、植栽を希望する会員43社がそれぞれ20ポット程度を会社周辺の道路沿いに植栽した。

笑顔のある「住まいづくり」は
当協会会員企業にお任せ下さい

JBN・全国工務店協会
長野県優良住宅協会

長野市岡田町124（長水建設会館内）
TEL 026-227-6226 FAX 026-228-6231

担い手確保へキャリア教育推進

長野市建協 荻原市長に要望

長野市建設業協会（川浦俊樹会長）の正副会長は15日に長野市役所を訪れ「公共事業予算の確保」「建設業担い手不足の改善に向けた『長野市モデル』の構築」「最低制限価格の見直し」「建設DXの推進」について荻原健司市長に要望した＝写真。川浦会長は「建設業は、深刻な人手不足や高齢化、資材の高騰に加え、新たに始まった盛土規制法や熱中症対策義務化の対応など、多くの課題を抱えている。この状況を理解いただき、要望の実現について特段の配慮をお願いしたい」と求めた。荻原市長は「受けた要望や、それ以外の課題についても皆さんと連携して対応し、より良いまちづくりに努めていく」と理解を示した。

要望では、災害から市民の生命・財産を守り、国土強靱化を推進するための公共事業予算の持続的・安定的な確保、最低制限価格算定計算式の見直しによる業界全体の支援を要請。国が今年度創設した「公立高校における地域の担い手の確保・育成の推進」特別交付税措置を活用し、人材確保に向けた市独自の施策「長野市モデル」を構築して市立長野高校で取り組むことを求め、小中学校で行われるキャリア教育にも積極的に参画する意志を伝えた。建設DXの推進については、工事等の電子契約化や電子保証導入までのスケジュールを明確にし、DX化の導入に差がある企業への救



済、県との施工書類の管理等の統一化などを求めた。

荻原市長は、小中学校や高校へのキャリア教育について「市立長野だけでなく、市の教育機関も含めて建設業に触れる機会をつくり、興味・関心を引き出す広い視点が必要」との考えを示した。

市平均の工事落札率が、県内19市と比較すると2～4%低いとの協会の指摘に、市財政部の原敏博部長は「市の平均工事落札率は16番目と低い、最低落札価格の設定率は3番目と比較的高い水準。入札参加業者の平均が県内で2番目に多く、競争が激しいことが落札率が低い要因」と分析。電子契約の導入については「一度に行うと事業者に混乱を招くこともある。いつ頃とはまだ言えない状況だが、早急に進めていきたい」とした。

市内業者 土木18社、建築22社減

長野市25～27年度入札参加資格者

長野市の2025～27年度建設工事等競争入札参加者の有資格者数で、建設工事の市内業者は前回

(23～24年度)に比べて57社減の591社だった。市外業者は20社増の621社。土木は274社で18社、建築が127社で22社、電気が104社で9社、管が142社で12社、舗装が205社で18社、造園が55社で13社それぞれ減った。

2025・26・27年度 業種別格付表(市内業者)

業種	格付	A	B	C	D	E	業者数計
	業者数	42	53	67	67	45	
土木一式工事	(2023・24)	43	60	66	58	65	292
	業者数	31	27	23	12	34	127
建築一式工事	(2023・24)	35	32	21	12	49	149
	業者数	36	33	35	—	—	104
電気工事	(2023・24)	39	27	47	—	—	113
	業者数	45	44	53	—	—	142
管工事	(2023・24)	54	30	70	—	—	154
	業者数	50	65	90	—	—	205
舗装工事	(2023・24)	58	65	100	—	—	223
	業者数	27	21	7	—	—	55
造園工事	(2023・24)	31	22	15	—	—	68

災害に備え土のう5000袋

長野市建協 140人が参加し作成

長野市建設業協会は5月22日、市の要請を受け、犀川右岸長野大橋上流河川敷で土のう5千袋の作成を行った。同協会の緊急出動班9班から140人（61業者）が参加。土のう作成機8台を使って、手際よく一つ20kgの土のうを作成。50袋ずつまとめてトンパックに詰め、川合新田防災倉庫や松代支所など計20カ所に搬送した。

市は、豪雨などによる川の氾濫等に備え4万袋を目標に土のうを備蓄しており、同協会と2012年に締結した災害協定に基づき、毎年作成を依頼



している。今回は新入社員や女性社員の参加も目立ち、協力してトンパックに袋を詰め、違う会社の社員と袋の結び方を教え合い、交流を深める姿もあった＝写真。

長野支部会員が指導 長工高生に丁張技術伝授



長野工業高校は6月9日、県建設業協会長野支部の協力で「丁張り」の実習研修会を開催した＝写真。土木構造物を施工する際の目標物として地

表に設置する丁張りについて学び、地元建設業界の技術者との交流を通して、より建設業への見識を広めることを目的とし、土木工学科3年生38人が参加した。

研修では、小山田雄治土木担当副支部長、同支部土木委員会の原山大輔委員長ら土木委員15人、女性部会から2人が講師を務めた。冒頭、小山田副支部長は「実習を通して、丁張りのかけ方だけでなく、社会人としての心構えや建設現場で起きていることなどを忌憚なく聞いてもらい、今後の進路に役立ててほしい」とあいさつした。

午前は丁張りの設置方法と設置に必要な数値の計算を学び、フリートキングを実施。午後は6グループに分かれ、講師から技術指導を受けながら計算した値を使って実際に丁張りを設置した。

緊急時の輸送路開放

専用アプリの使い方学ぶ

県建設業協会長野支部は5月20日、県長野建設事務所と「第1回緊急輸送路道路パトロール訓練」を長水建設会館で開催し、同支部土木委員と支部内の各地域で構成する9JVから80人が参加した＝写真。県の緊急輸送道路ネットワーク計画と県道路啓開計画の見直しに伴い、大規模地震発生時における緊急輸送道路の早期確保に向け、災害情報共有システムを活用した事前の備えと、県と連携した訓練を年度内に3回実施する。

参加者はスマートフォンにアプリをインストー

ルし、現地状況を報告するための写真、コメントの投稿方法を学び、JVごとに担当地域に移動して実際の道路状況について写真や必要な情報を入力、送信。その過程をアンケートで回答した。アンケート結果は今後反映され、次回第2回は9月に予め想定した災害事象を元に訓練を行う。



県土木施工技士会長野支部総会

県土木施工管理技士会長野支部は6月4日、第41回通常総会（代議員総会）を長野市内で開き、24年度事業と収支決算報告、25年度事業計画案と予算案などを承認した。



和田幸文支部長は「技術と密接に隣り合うのは安全。県内ではこの2カ月で重機転落災害が2件発生している。改めて安全第一を肝に銘じ作業に取り組んでほしい」と呼び掛け、「間もなく始まる管理技士受験準備講習会では、会員企業から多くの講師を派遣してもらっている。一人でも多くの技術者を排出できるよう、力添えをお願いしたい」と協力を要請した＝写真。

犀協会総会

犀協会は5月29日に2025年度通常総会を開催、25年度事業計画・収支予算などを承認した。



池田正彦会長は「災害時における官民連携や防災力の一層の強化が、国土強靱化施策の一部となっている。安心安全な砂防事業推進のため、地域に根差した当会が砂防事務所と連携し、全会員で一致団結し防災インフラ整備管理を強化していこう」と呼び掛けた＝写真。

長野火薬類保安協会総会

長野火薬類保安協会は6月23日に第67回通常総会を開き、火薬類取締法の周知徹底などの本年度事業計画を承認した。



小山田雄治会長は「県における火薬類自主保安の中核機関として、より一層の法令順守とともに、事故の未然防止に努めていかなければならない。その役割を果たすため、皆さんと努力していく」とあいさつした＝写真。

長水建設会館株主総会

長水建設会館は5月26日に第61期株主総会を開き、第61期営業報告、第62期営業計画などについて承認した。



湯本宜成社長は「施設の老朽化が一番の課題。今後については、副社長や専務、常務、会計事務所も交えて6月から検討をしていく。方向性についてはその会に預けてもらい、検討内容は会員に書面か招集により報告するので、その際はお時間をいただきたい」とあいさつした＝写真。

北信建設事業組合総会

北信建設事業協同組合は5月28日、第63期通常総会を長野市内で開き、25年度事業計画と収支予算などを承認した。



鹿熊聡理事長は「この1年はさまざまな要因が重なり、組合にとって厳しくなると予想したが、皆さんのおかげでなんとか目標をクリアすることができた。抱える課題の改善を進め、今後もそれぞれの会社が発展できるよう、組合を利用してほしい」と協力を求めた＝写真。

県優良住宅協会総会

県優良住宅協会6月19日、長野市内で第18回通常総会を開き、2025年度事業計画などを原案通り承認した。



野本大介会長は「住宅産業を取り巻く環境は厳しく、この先の住宅についてはかなりの知恵と工夫が必要になる。JBN・全国工務店協会から、12年ぶりに会費値上げの要請があるなど、頭の痛い問題もあるが、先を見越した有益な情報を提供するとともに、積極的な活動運営を行っていくので、引き続き協力をお願いしたい」とあいさつした＝写真。

真田家の家紋

松代文化施設等管理事務所
研究員 山中 さゆり

「家紋」と聞くと、皆さんはどんなことを思い浮かべますか？現代では、冠婚葬祭の際に着用する紋付や、お盆の提灯などで見かけることも多いと思います。

では、歴史上で知っている「家紋」にはどんなものがありますか？徳川将軍家の葵の御紋はよく知られているでしょう。長野県の方なら、武田菱と呼ばれる武田信玄の菱形の家紋を知っている方が多いのではないのでしょうか。では、戦国時代の武将で最もよく知られている織田信長や豊臣秀吉、上杉謙信、伊達政宗などの家紋はどうでしょう。名前だけならほとんどの方が知っているこうした戦国武将のスーパースターでも、家紋というとすぐに思い浮かばないのではないのでしょうか。一方、真田家の家紋はご存じですか？おそらく、あまり歴史に詳しくない方でも「六文銭」であることを知っているのではないのでしょうか。

私は、以前から、並み居る戦国武将の中でも弱小とってよい真田家の家紋が大変よく知られていることが、とてもおもしろいと感じていました。そこで、真田宝物館では9月15日まで、真田家の家紋について取り上げた展示を開催しています。今回はこの展示のご紹介もかねて、真田家の家紋について述べてみたいと思います。

そもそも武家の家紋は、鎌倉時代初期の旗指物に描かれた「しるし」です。一族が団結して戦う時、その家の主（あるじ）の所在を示し、一族の象徴として、また敵・味方を見分けるために用いられました。戦国時代には、集団が密集しての大きかりな戦闘が増え、武功の確認が必要となりました。そのため、各自が旗指物を背負い、それぞれが遠目にも目立つように、多種多様な家紋がシンボルとして使われるようになったと考えられます。江戸時代になると、大名行列の識別のために、旗指物のほか行列が携える馬印や長持、挟箱などの道具に家紋が入れられ、目印となりました。

真田家の家紋は、先に述べた「六文銭（六連銭

とも）」のほか、結雁金、洲浜、割洲浜の、合わせて4つがあります。それぞれ様々ないわれが伝わっていますが、いつから使われているのかも含め、どれ



六文銭と割洲浜があらわれた鼻紙台

もはっきりとしたことはわかりません。しかし、六文銭はお金、結雁金は戦勝の象徴、洲浜・割洲浜もおめでたい文様であり、すべて吉祥の意味があります。

六文銭のデザインは、仏教の六道銭からきているといえます。六道とは、生き物が生前の行いによって生死を繰り返すという地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六つの世界をいいます。そして六道銭は、死者があのに世に旅立つ時、三途の川の渡し賃として棺の中に入れ、地蔵尊に供えるお金です。真田家では一文銭を横に3枚並べたものを2段に配置したデザインを使用しています。これが、戦に臨む武士の覚悟を表したもので、といわれますが、実はこの説は大正から昭和にかけて活動した郷土史家が唱えた説とみられ、古文書には出てきません。また、結雁金や洲浜、割洲浜は替紋と呼ばれ、女紋とも言われます。しかし、これらは女性だけが使った家紋ではなく、藩主の衣服にも使用されていますし、六文銭とともにあられることもあるのです。

六文銭は、真田家だけが使っていたのではなく、真田家の出自である滋野一族が広く使用している家紋でもあります。ただ、これだけ六文銭が広く知られているのは、丸と四角から構成されたシンプルかつ覚えやすい図案であること、そして、真田家の歴史やその存在が魅力的だからなのだと感じています。そんなことを思いながら、真田家の家紋をご覧いただけると嬉しいです。

建設関連図書販売サイト
Bookけんせつ Plaza



積算資料・積算資料電子版・
土木施工単価・建築施工単価

<https://book.zai-keicho.or.jp/>

ER 一般財団法人 経済調査会

〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル



仕事も味も、一期一会 食でつなぐコミュニケーション

(株)川瀬工務店常務取締役
駒津 信太郎

皆様、ご機嫌いかがでしょうか。

建設業で過ごしてきた年月も、気がつけばアラフィフ。現場で汗を流す職人さんたちとはまた違った立場とはいえ、日々の打ち合わせや工程調整、クライアント対応など、体力と気力が問われる日々が変わりありません。最近「疲れが抜けにくくなったなあ」なんて感じつつも、まだまだフットワーク軽くあちこち飛び回っています。

そんな中、東京出張の時、びっくりする事がありました。なんとなく入った次郎系ラーメン屋。「背脂マシ、ニンニクガツン」に惹かれて入ったその店で、厨房から聞こえる「いらっしゃいませ?」の声に、どこか懐かしさを感じて顔を上げると…なんと高校の同級生じゃありませんか。お互い歳を重ねたとはいえ、ひと目でわかる不思議さ。背脂よりも濃い再会。聞けば、東京で店長として頑張っているとのこと。濃厚ラーメンに負けないくらい気持ちが熱くなり、高校時代に戻ったようなそんな時間でした。自分も負けてられないなど背筋を正した帰り道。満腹のお腹をさすりながらの帰路もまた、忘れられない思い出です。

こうした"おいしい記憶"は出張先に限らず、日々の社内でも同様。社内の同じ部署の仲間と「今日は何を食べたい?」なんて話す瞬間は、仕事とは関係なく、人としてのつながりを感じられる大切な時間です。スマホには長年積み重ねた日々の外食の記録がびっしりです。ラーメン、焼肉、ステーキ、お寿司、パスタにピザ…選ぶだけでも会話が弾みます。現場立会后に食べた定食屋さんに感動し、またある日は、女性社員たちの影に隠れてイタリアンに潜入したり。「男一人では入れないね」なんて笑いながら、パスタやピザを食べたのもいい思い出です。

先日も冬期の除融雪作業で毎日天気を気にし晩酌を我慢し、深夜未明から一緒に頑張ってくれた会社の仲間達とお疲れ様会をしようという話にな



次郎系



とんかつ

り、高級焼肉に行きました。一つ一つのお肉を焼いて味わいながら、たわいもない雑談を楽ししい時間を過ごしました。大雪の中 若穂保料の車両基地まで行き、雪かきをしながら融雪剤の積込をした苦労も、この食事一つで報われます。

営業という仕事は、数字やスケジュールに追われがちです。でも、誰かと一緒に食事をしながら交わす何気ない会話こそが、信頼関係の土台になっていると実感しています。

ちなみに食べる前に写真を撮る。それが私の"食のマイルール"です。もはやお箸よりスマホを先に握る癖がついてしまい、気づけば周囲の社員に「駒津常務、また撮ってる!」と笑われる始末です。けれども、やめられません。なぜなら、私のスマホのアルバムは、私の人生のおいしいアーカイブだからです。でも画面越しじゃ香りも湯気も伝わらないのが残念ですね。画面から香りが伝わる時代がいつかるといいなあと思います。これらのアルバムに部下から「インスタ映えますよ!」と勧められますが、アラフィフには投稿のハードルが高くて…見る専門で勘弁してください(笑)

私のおすすめランチスポット、気になった方は遠慮なく声をかけてくださいね。気軽に聞いてもらえると嬉しいです。今日も美味しいご縁がありますように。

火薬類 使うあなたが責任者
正しい知識で良い管理 STOP!

長野火薬類保安協会

〒380-0936 長野市岡田町124-1

TEL:227-6226 FAX:228-6231

● 長野県建設業協会長野支部

- 5月 12日 △女性部会
△北信ブロック会議
- 5月 13日 △県建築士事務所協会長野支部通常総会
- 5月 14日 △定時総会
- 5月 16日 △土木正副委員長会議
△長野地域職業訓練協会理事会兼通常総会
- 5月 26日 △県建設業協会通常総会
- 5月 30日 △長野地区特定家畜伝染病防疫対策担当者会議
- 6月 2日 △建設技術実践プロジェクト打合せ会
- 6月 5日 △けんざか茂範氏、藤田ひかる氏講演会
- 6月 6日 △監理技術者講習会
△長野工業高校授業支援「丁張実習」事前準備
- 6月 9日 △長野工業高校授業支援「丁張実習」
- 6月 26日 △総務委員会

● 長野市建設業協会

- 5月 14日 △通常総会
- 5月 22日 △土のう作成
- 6月 5日 △ながの地域まるごとキャンパス
篠ノ井高校説明会参加
△市長訪問(会長・支部長・けんざか茂範氏)
△広報委員会
- 6月 16日 △建築委員会

● 関連団体

- 5月 1日 会館：△取締役会・監査会
- 5月 13日 技士会：△役員会△監査会
犀協会：△事前監査会△役員会
- 5月 19日 建災防：△労働災害防止連絡会議
- 5月 20日 火薬：△正副会長会議
- 5月 22日 長住協：△役員会△監査会
- 5月 26日 会館：△株主総会
- 5月 29日 犀協会：△定時総会
- 5月 30日 建災防：△建災防県支部代議員総会
- 6月 2日 長住協：△信州健康ゼロエネ住宅普及促進協議会
- 6月 4日 技士会：△通常総会
- 6月 7日 技士会：△1級・2級土木施工管理技士受験準備講習会
- 6月 10日 火薬：△役員会△監査会
- 6月 11日 建災防：△建設業等における作業者のための熱中症予防教育
△丸のこ等取扱作業従事者教育
- 6月 12日 建災防：△分会(建設部会)定時総会
△安全大会
- 6月 14日 技士会：△1級・2級土木施工管理技士受験準備講習会
- 6月 17日 火薬：△保安教育講習会
- 6月 19日 長住協：△通常総会

- 6月 20日 技士会：△県技士会代議員総会△役員会
- 6月 21日 技士会：△1級・2級土木施工管理技士受験準備講習会
- 6月 23日 火薬：△通常総会
- 6月 25日 建災防：△自由研削用といしの取替え等業務に係る特別教育
- 6月 28日 技士会：△1級・2級土木施工管理技士受験準備講習会

編集後記

暑い夏の建設作業

熱中症の重篤化を防止するため、今年の6月から労働安全衛生規則が改正されました。事業者は熱中症を生ずる恐れのある作業を行う際には、報告するための連絡先や担当者を事業場ごとにあらかじめ定め、熱中症の症状の悪化を防止するために必要な措置に関する内容や実施手順書を作成し、関係作業員に対して周知することが義務化されました。我々建設業では恐れのある作業とはすべての作業だと思えます。今この原稿を書いている現在、梅雨入りしたばかりではありますが、すでに真夏のような暑さが続いています。長い期間の対策になりそうですが、作業員の健康を維持できるよう対策をしっかりとやっていきましょう。自分は大丈夫だと思っている人も多いと思われまますので、毎日の朝礼時などで繰り返し注意喚起することが大事だと思います。今年の夏も熱中症対策をしっかりと行い、重症者を出さないよう乗りきりましょう。

(丸田 泰)

発行所 一般社団法人長野市建設業協会

<https://sikenkyo.sakura.ne.jp/>
長野市岡田町124-1 長水建設会館内
TEL026-224-3660 Fax026-228-6231
長野県建設業協会長野支部
<http://w2.avis.ne.jp/~nkn/>
長野市岡田町124-1 長水建設会館内
TEL026-227-6226 Fax026-228-6231

発行責任者 飯島 泰臣 川浦 俊樹

編集責任者 柳沢 昌宏

編集製作 長野経済新聞社

建設ながのNo.233 令和7年7月発行

お知らせ

長野市建設業協会のホームページURLが変わりました。<https://sikenkyo.sakura.ne.jp/>